激化する特許戦争

企業に必要な〝攻め〟と〝守り〟

2011年から12年にかけ、米アップルと韓国サムスン電子が世界中でスマートフォン（多機能携帯電話）を巡る訴訟合戦を展開した。争点は国により異なるが、端末の意匠やインターフェース（情報の入力・表示形式）が問題になった事例が多い。米国ではスマートフォンの販売差し止め請求にまで発展し、デザインが製品の競争優位性に直結することを物語った。一方、日本ではこうした認識が浸透しているとは言えない面もある。企業は特許や意匠権にどう向き合うべきなのか。

スマートフォンを巡る訴訟

感覚的分野の勝負に

11年4月15日、アップルはサムスンを相手にした訴状を米国の裁判所へ提出した。サムスンのスマートフォン「ギャラクシー」シリーズなどが、自社の特許を侵害しているとする内容だ。

このときアップルが言及したのは個別の特許権や商標権だけにとどまらない。商品の全体的なイメージに関する権利であるトレードドレスについても提訴の対象とした。

つまりアップルは、自社のスマートフォン「iPhone（アイフォーン）」がサムスンによって全体的に模倣されたと主張したことになる。

こうした訴訟は韓国や日本、ドイツなどでも繰り広げられた。12年までの状況は、米国やドイツでアップルが勝訴。特に米国ではサムスン端末の販売差し止めには至らなかったものの、同社は10億5000万ドルの損害賠償を命じられた。日本ではアップルの訴えが退けられ、サムスンのスマートフォンを主力に据えるNTTドコモが難を逃れたことは記憶に新しい。

アップルとサムスンが訴訟合戦を繰り広げる背景には、スマートフォンでの競争激化がある。アップルは07年に初代アイフォーンを投入。カナダのリサーチ・イン・モーション（現ブラックベリー）やフィンランドのノキアを追い落とし、同市場で揺るぎない存在感を確立した。

しかし米グーグルが基本ソフト（OS）「アンドロイド」とともに参入。これを支持するメーカーが多数登場し、現在のOS別シェアではアップルの「iOS」を上回っている。

サムスンはスマートフォン端末市場で世界1位の出荷台数を誇り、アンドロイド陣営を代表する企業だ。アップルがグーグルを警戒し、同社の協業企業も含めた切り崩しを狙って訴訟を仕掛けた側面は否定できない。

スマートフォン向けOSの種類が少ないことも訴訟の遠因になっている可能性がある。米マイクロソフトの「ウィンドウズフォン」はシェアがまだ少ない。今後は米モジラ財団が開発する「ファイヤーフォックスOS」などの新OS台頭が見込める。とはいえメーカーは近年、アンドロイド以外に有力な選択肢がない中で他社の端末と差別化するという難題に直面してきた。

このため使い勝手やデザインという感覚的な分野で勝負することが多くなり、他社の意匠権に抵触しやすい状況だと言える。

日本貿易振興機構（ジェトロ）で知的財産関連業務を手がける森詩郎氏は「スマートフォンのような形状の製品は先に意匠権を取られると、それ以上のものを作るのが大変。技術的に遜色がなかったとしても、デザインで勝負するしかなくなる」と指摘している。

特許争いが激化したアップルのアイフォーン（左）とサムスンの「アンドロイド」搭載端末

スマートフォン1台につき使用されている特許はかなりの数にのぼる

米アップル vs 韓国サムスン電子

スマートデバイス（多機能端末）を巡る主な特許訴訟（2011～12）

国	結果	
米国	アップル勝訴	サムスンに10億5000万ドルの損害賠償を命令。サムスン端末の販売差し止めは認めず
韓国	引き分け	両社が相互に権利を侵害していると判断
ドイツ	アップル勝訴	サムスン端末の一部について、ドイツ国内での販売禁止を決定
日本	サムスン勝訴	アップルがサムスンに請求した損害賠償を棄却

小さい市場でもトップに

知名度アップに有効

こうした点はスマートフォンに限ったことではなく、液晶テレビやパソコンなどのデジタル製品全般に言える話だ。汎用的な電子部品を接続するだけで最終製品が完成してしまう感が強く、組立工程での差別化要素は少なくなってきている。この分野に関わる企業は、意匠の重要性を十分に認識する必要がある。

しかし日本企業の理解は必ずしも行き届いてはいないようだ。ジェトロには知的財産に関連する企業からの相談が多数持ち込まれるが、「全体から見ると意匠に関わる話は多くない」（森氏）。

特に中小企業は商標登録は行うものの、意匠については対応しないケースが目立つという。中小は経営資源に限りがあるため、全世界で万全な体制を敷くのは困難。だが「市場が大きな国や訴訟リスクが高い国に絞って意匠登録をするなど、できるだけの対策をした方が良い」（同）だろう。

一方で、特許を武器に積極的な事業展開を図っている中小企業もある。電子データ配信サービスを手がけるイーパーセル（東京都千代田区）は、グーグルに特許訴訟を提起して和解を勝ち取ったことで知られている。

イーパーセルは「ロバスト・デリバリー・システム」と銘打った特許を米国で取得している。通信が中断した場合でも、大きなサイズの電子ファイルを確実に転送するための仕組みだ。現在インターネットの世界では常識的に使われている概念であるが、同社は97年に特許出願をして00年に認められている。グーグルはこの事実を知らなかったとみられ、イーパーセルの提訴を受けてライセンス（使用許諾）費用を支払うこととなった。

「誤解を恐れずに言うと、訴訟を起こしたのは会社や自社製品の知名度を上げるため」。北野譲治イーパーセル社長はこう振り返る。多くの企業に自社サービスを販売するには、大企業に採用される必要があると北野社長は考えた。だが正攻法で提案してもベンチャーは相手にされないことも多く、興味を持ってもらえた場合でも社内の意思決定に時間がかかりがちだ。こうしたジレンマを打破するための切り口として特許を位置づけた。

北野社長は「絶対にベンチャー企業は攻めることが必要だが、守りが弱いために攻めきれなくなりがちだ」と分析する。

「攻めと守りは表裏一体。小さい市場でもトップに立ち、競合にかなわないと思わせることが攻めにも守りにもなる。特許はそのための手段だ」（北野社長）。現在も40代以下の若い弁護士たちと情報交換を継続し、特許や意匠の情報を収集し続けているという。

デジタル化の進展でモノづくりの考え方が変わってきており、海外勢との競争も激化の一途をたどっている。一連の訴訟事例を対岸の火事として済ませてしまうか、教訓と捉えて自社における知的財産の位置づけを再確認するのか。経営者の見識があらためて問われる時期に来ている。

4.18 発明の日特集

IPDL 特許電子図書館 Industrial Property Digital Library を利用した

特許分類による検索を誰にでも可能にした本格的調査支援・自動検索ソフトウェア

調査支援ソフトウェア・ゴッドサーチ

番号照会した公報に付与されたFI・Fタームを基に検索式が生成されます。

A23L1/164-1/195
LB04 ・衣づけ材 / LB05 ・・天ぷら用衣材 / LB06 ・・フライから揚げ用材
LB14 / LB04 ・衣づけ材 / LB05 ・・天ぷら用衣材 / LB06 ・・フライから揚げ用材

God Search GodSearch

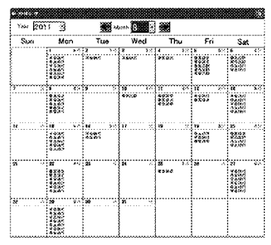
■調査の初心者でも 1日の練習でプロを凌ぐ腕前に
■プロは調査の効率化に
■研究者・担当者の負担を軽減

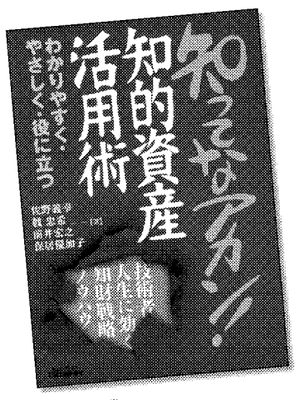
Click マウスのクリックだけでFタームの取捨と検索式の修正が行えます。

素早く!! 検索完了

※生成された検索式は、IPDL以外の検索データベースでも利用できます。
本ソフトウェアはロボットではなく、皆様のマウスによるクリック操作を代行するもので、IPDLのデータを直接操作するものではありません。
ULT Research Co., Ltd.　東京都江東区東陽 5-30-13 東京原木会館　標準価格12万円（税別）2本目価格は半額（サンプルあります）

ここまで進化しました!
特許管理ソフトウェア（特実意商PCT）
2000件版17万円～（サンプルあります）
特許帳® Ver.12
●手入力の殆ど要らない知財管理ソフト ●IPDL利用データメンテナンス ●期限のメールお知らせ ●簡単高機能帳票作成 ●併合納付書作成 ●期限のカレンダー表示
アルトリサーチ株式会社　TEL. 03-5634-2255（代）



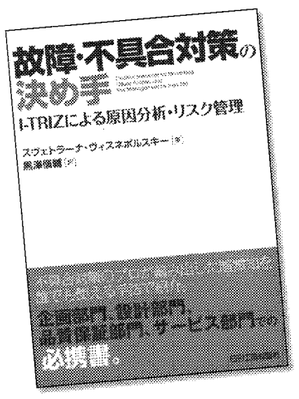


知ってなアカン!! 知的資産活用術 わかりやすく、やさしく、役に立つ

知ってなアカン! 知的資産活用術
技術者人生に効く知財戦略ノウハウ
佐野義幸・戟　忠希・前井宏之・保居優加子 著
●A5判　●定価2,310円（税込）

本書は技術者のための知財活用入門書。知財の基礎知識と、技術者にとって必要な知的資産の獲得・活用方法を、弁理士・技術士などのそれぞれの専門家が解説するまったく新しいユニークな知財入門書。堅苦しい従来の本と違って、若手技術者たちの成長ストーリーと、豊富なイラストや図面により、楽しく丁寧に紹介している。

■主な内容
●第1章　知的資産とは?!　知的資産って、何やねん?!
●第2章　知的資産の創り方　技術的な問題の解決が知的資産につながるんや!
●第3章　見える化　見えるようにすれば、何とかなる!
●第4章　魅せる化　魅せて、魅せられて
●第5章　技術者人生に使える知的資産の活用術　知的資産で成りたい自分に成る



故障・不具合対策の決め手 I-TRIZによる原因分析・リスク管理 スヴェトラーナ・ヴィスネポルスキー 著 黒澤愼輔 訳 企画部門、設計部門、品質保証部門、サービス部門での必携書。

故障・不具合対策の決め手
I-TRIZによる原因分析・リスク管理
スヴェトラーナ・ヴィスネポルスキー 著　黒澤愼輔 訳
●A5判　●定価3,150円（税込）

製品開発の現場では「不具合が発生したが、その原因がわからない」という問題でしばしば発生し悩みの種となっている。本書はこうした想定外の不具合対処や不具合予測に高い効果のあるI-TRIZの手法を紹介。逆転発想から生まれたメソッドによって、効率よくスピーディーに不具合解決できる。

企画部門、設計部門、品質保証部門、サービス部門での必携書!

■主な内容
●第1部　AFD不具合分析 ―不具合の隠れた発生メカニズムを明らかにする
●第2部　AFD不具合予測 ―不具合を予測する―
●第3部　まとめと補足

◆お求めは書店または弊社出版局販売・管理部まで
日刊工業新聞社 出版局販売・管理部　〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1　TEL 03(5644)7410　http://pub.nikkan.co.jp/　FAX 03(5644)7400

特許翻訳の
さまざまな分野に対応 高いクオリティーとフットワークのよさで
株式会社 新日本翻訳センター
Shin-nihon Honyaku Center
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-6-4 リップル天満橋ビル4F
URL:www.shin-honyaku.com　E-mail:honsha@shin-honyaku.com
tel:06-6966-3616　fax06-6966-3633

特許　特許明細書、特許公報、優先権証明書、中間処理資料（審査請求書、審判請求書）、他
メディカル　基礎、前臨床、臨床、薬理、薬事、製剤、医療機器
工業　コンピュータ、半導体、通信、エレクトロニクス全般、機械全般、鉄鋼、金属、自動車、建築、繊維、ファッション、バイオテクノロジー、化学全般、食品
その他　法律、経済、金融、ビジネス全般

翻訳はどこに依頼しても同じではありません。
スペシャリスト。